

入会について

入会資格

中国料理に係る調理、接客、管理・運営等に従事している方で、本会の目的に賛同する個人。

入会金・会費

①入会金：3,000円(会員証、バッジ代1,000円含む。再入会の場合は2,000円)

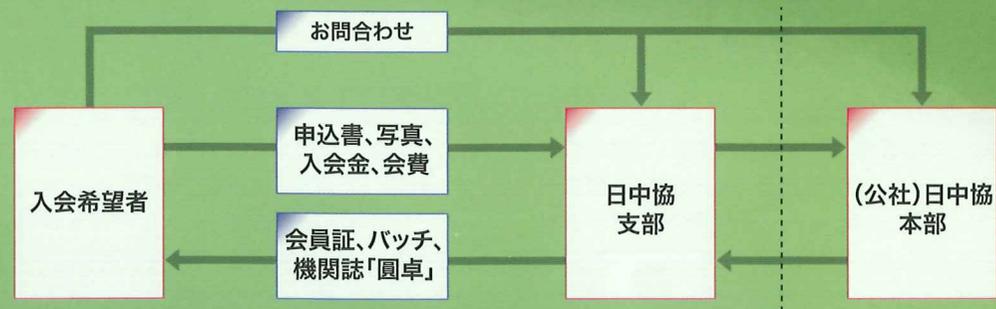
②会費(月額)：本部会費600円+地区本部・支部会費 _____ 円= _____ 円

入会に必要なもの

- ①入会申込書(必要事項をもれなくご記入下さい)
- ②顔写真1枚(たて4.5cm×よこ3.5cm /裏に氏名をご記入下さい)
- ③入会金+会費(3ヶ月分)

入会手続き

入会希望の方は、勤務先所在地の支部を経由して入会手続きをして頂きます。入会に必要な申込書・写真及び会費等を添えて、支部の担当者にお申し込み下さい。



お申込み先

(支部)

(連絡先・担当者)

お問い合わせ先

(公社)日本中国料理協会 本部事務局

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町2-8-5 JACCCビル

TEL. 03(3666)5415 FAX. 03(3666)5421 ホームページ <http://www.jaccc.op.jp>

入会のご案内

私たちは会の活動を通じて、国民の食の安全を守り、健康の増進をはかってまいります。あなたの入会を心よりお待ちしております。



公益社団法人 日本中国料理協会

(略称：日中協)

The Japan Association of Chinese Cuisine
(JACC)



入会のメリットは、各種事業への積極参加で生まれます

設立目的

本会は、中国料理に係る調理、接客等に関する調査研究及び普及啓蒙、中国料理の調理、接客等に従事する者の生活の指導及び援助並びに技能向上のための講習会等を行うことにより、就労支援、食資源の有効活用、食育事業の推進、国民の公衆衛生の向上、国際相互理解の促進等に寄与することを目的とする。

沿革

昭和57年7月、(社)日本中国料理調理士会として発足した当会は、その後名称を(社)日本中国料理協会に改め、全国の中国料理調理、ホール従事者が力をあわせて今日まで様々な事業を行ってきました。そして平成25年4月、公益社団法人に移行し、より公益性の高い事業を行う団体として運営を行っております。

特に、昭和62年9月の「設立5周年記念・大中国料理フェア」を皮切りに、平成5年2月には「設立10周年記念・中国料理世界大会」を主催し、さらに平成12年3月、4年に一度の中国料理オリンピック「第3回中国料理世界コンクール」を日本で開催しました。このコンクールでは、中国本土はもとより台湾、香港、シンガポール、マレーシア、アメリカ、カナダ等の選手団が当会選抜の日本選手とともに熱戦を繰り広げ、わが国調理技術並びに社会的地位を飛躍的に発展させることになりました。

組織の強化、活性化と業界従事者の技能並びに資質の向上が、業界発展ひいては国民の利益に繋がるという観点に立ち、現在、国内では、「中国料理美食展」並びに「青年調理士のための全日本中国料理コンクール」を2年に一度開催し、また海外では、4年に一度の中国料理オリンピックに選手団を送るとともに、世界各地で開催されるコンクールに参加し、また国の行う食育事業への協力、食養薬膳調理通信講座の運営、日中協サービス技能認定試験の実施等、多岐にわたる事業を実施しております。



青年調理士コンクール・各種講習会・賞味会の開催

各種コンクール、講習会、セミナー、賞味会等の開催、中国各地への研究生派遣、食養薬膳調理通信講座の開設、調理技術、サービス技能書の出版などを通じて、技術と知識の向上をめざす会員を応援します。



青年調理士コンクール

世界各地の中国料理関係団体と交流

中国料理の世界組織である世界中国烹飪連合会に加盟し、海外コンクールへの選手派遣及び世界各地の団体と交流するほか、毎年、中国をはじめ海外への研修視察旅行を実施し、現地で見聞と交流を深めています。



中国代表团による料理講習会

免許・資格の取得を援助

調理師免許の受験情報の提供、専門調理師・調理技能士資格の取得に向けた学科免除講習会や実技試験準備講習、サービス技能試験のための学科勉強会などを実施し、受験者を援助します。



専門調理師実技試験

地域での活動

全国各地の支部では、料理講習会、賞味会、コンクール、ボランティア活動、各種食育事業、研修視察などを実施しており、地域活動を通して社会貢献を行っております。またこれに積極的に参加することで、他店舗会員との交流が生まれます。



食育のための出張授業

表彰制度と福祉事業

業界発展に顕著な功績のあった会員に対し、会の規約に基づく表彰や、知事表彰、大臣表彰、中国駐日大使賞、褒章、叙勲など公的表彰制度へ推薦や申請を行います。また福祉事業では、会員の死亡に対し、一人50万円を限度とした見舞金の支払いなどの制度を設けています。



厚生労働大臣卓越技能者表彰

「中国料理専科圓卓」の配布

全国各地での地産地消料理をはじめ、優れた作品を掲載したカラー特集、最新の食材情報、また本部・支部の活動報告など生きた情報を満載した機関誌「中国料理専科圓卓」を隔月発行し、全ての一般会員に無料配布します。また圓卓会員には有料で配布します。



機関誌「中国料理専科圓卓」

サービス技能の向上を図る

中国料理のホール従事者の技能水準並びに地位向上を図るため、平成15年2月、サービス部会(現サービス技能支部)を発足させるとともに、毎年、サービス技能認定試験を実施しています。



サービス技能試験

「食養薬膳調理通信講座」の実施

2年間の通信講座で、中医学理論と医食同源の調理法を学び、消費者の健康増進に寄与することを目的とします。講座修了後、中国・中華中医学学会栄養薬膳専門家分会による学科試験と、当会によるレシピ作成試験、実技試験を受験し、合格者には同分会から「栄養薬膳師」の称号が授与されます。

入会金について

新入会

本部入会金(会員証・会員バッジ代含む)	3,000円
本部会費(月額600円)3か月分前納	1,800円
支部入会金	2,000円
支部会費(月額700円)3か月分前納	2,100円
合計	8,900円

再入会の場合

本部入会金	2,000円
会員証・会員バッジ再発行代金	1,000円
本部会費(月額600円)3か月分前納	1,800円
支部入会金	0円
支部会費(月額700円)3か月分前納	2,100円
合計	6,900円

* 入会・再入会に限らず退会時は入会金・会員証・バッジ代金は返金できません。

* 入会・再入会に限らず退会時は初回前納した3か月分会費は返金できません。

※3か月後は月額会費1,300円

会費は年度末(3月)までの年払いを出来るだけお願いしています。

退会時には在籍月以外は返金いたします。

公益社団法人日本中国料理協会 入会申込書

申込年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

地区本部・支部名 _____

入会開始年月 _____ 年 _____ 月 より

(注) 顔写真1枚(裏に氏名を記入)を必ず添付すること。糊付け不要

どちらかに○をつけて下さい。 **新入会** ・ **再入会**

氏名	(フリガナ) -----		男・女	大・昭・平 年 月 日生	
自宅住所	(フリガナ) 〒 (—)				
	自宅電話	携帯番号(※任意)	本籍	都・道・府・県	
つとめ先	店名	(フリガナ) -----			
	会社名	(フリガナ) -----	役職名	-----	
	所在地	〒 (—)			
	電話	— — (内線)		勤続	年 カ月
しごと	実務年数	年 カ月	最終学歴	昭和 平成 年卒業	
	免許・資格	調理師免許	有 ・ 無	取得年月日 年 月 日	()都道府県知事 第 号
		専門調理師 調理技能士	有 ・ 無	取得年月日 年 月 日	第 号 ----- 第 号
	サービス関係	種類	取得年月日 年 月 日		第 号
		種類	取得年月日 年 月 日		第 号

※ご記入いただいた内容は、日中協個人情報保護方針に則り適正に扱います。

平成 29 年 4 月

会員各位殿

日本中国料理協会
愛媛県支部副支部長
重松 寿

(支部公印省略)

調理業務従事歴等届のお願い

拝啓 会員の皆様には、ますますご健勝にてご活躍のことと存じます。

この度、会員の皆様には日中協本部表彰、その他推薦等対象者資格確認のため、また、入会時から住所・電話番号の変更等、その他連絡のため、調理業務従事歴等の提出をお願いいたします。つきましては調理業務従事歴等届へ記入の上、担当ブロック長へお渡しいただけるか、ファックス・メールにてご返信いただけたらとお願い致します。

お忙しいところ、恐縮ですが、よろしくお取り計らい下さい。

敬具

返信先 重松 寿

- ❖ FAX 089-924-3153
- ❖ 携帯電話番号 090-2781-6141
- ❖ パソコンアドレス chuugokukappou_ooiwa@pure.ocn.ne.jp

